

三齒科大学女性協議会主催

# 第5回女性歯科医師の集い

「新たな一步を踏み出そう！～昨日より素敵なあなたへ～」

## 報告書



愛知学院大学歯学部同窓会女性企画委員会

日時：平成30年11月25日（日） 10:30～15:30

会場：東海東京証券オルクドールサロン

大名古屋ビルヂング 33階



## 【巻頭言】

2014年11月、全国歯科大・歯学部同窓会・校友会懇談会（全歯懇）が「女性会員がより輝くために」というテーマで開催され、愛知学院大学歯学部同窓会・朝日大学歯学部同窓会・松本歯科大学校友会の女性役員が、各同窓会での女性会員活動について報告した事を契機に、2015年1月、「第1回親睦交流会」が三校の女性歯科医師17名で開催されました。その中で、交流会継続の決議がなされ、同年11月に「第2回女性会員交流会」を開催し、86名の女性歯科医師の参加者が集いました。その後、三歯科大学同窓・校友会において「三歯科大学女性協議会」の発足が正式に認められ、名称変更し、2016年11月27日「第3回女性歯科医師の集い」として会が開催されました(102名参加)。第4回となりました昨年は「今後の女性歯科医師の集いに求めるもの」というテーマのもと、これまでの会でスタッフとして支えて下さった方を中心に36名がフレンチレストランに集い、懇親会形式で開催されました。

今回は過去4回開催された集いの事後アンケート結果を踏まえて、役員で協議を重ねてまいりました。テーマは「新たな一歩を踏み出そう！～昨日より素敵なあなたへ～」です。フリーアナウンサーの稲葉寿美さんを講師に迎え、演題「愛される言葉力～心に残る話し方・接し方～」の講演と、「女性とキャリア」をテーマにしたグループ別座談会を開催いたしました。本来の目的でありますお互いの顔を知り、そして親睦を深めつつ研修するという目標に近づき、より参加者に喜んで頂ける内容になったと自負しているところです。

各大学に目を移しますと、愛知学院大学歯学部では、2008年から本部同窓会に女性企画委員会が発足、現在は中村委員長のもと、16名の委員で女性同窓会員同士が気軽にコミュニケーションを楽しむ機会を設け、またキャリアサポートや悩み相談などのホットライン的な窓口の役割を目指して活動しております。松本歯科大学では、2015年に女性会員のための「桔梗の会」発足、朝日大学歯学部では、2016年より本部同窓会に「花みずき女性会」が発足し、定期的に会が開催されており、各大学での活動もますます精力的になってきています。

「第5回女性歯科医師の集い」の開催に際しまして、参加していただいた93名の女性歯科医師にエールを送るとともに、ご協力いただきました関係各位に深く感謝しつつ、東海地方のみならず全国に女性歯科医師の輪が広がっていく事を切に願い、ここに報告書を作成致しました。

平成30年12月吉日

(森岡貴子)

## 【参加者】

女性歯科医師 93名

(愛知学院大学 48名・朝日大学 19名・松本歯科大学 16名・他大学 10名)

## 【スケジュール】

10:30～	開会、挨拶
10:50～12:00	講演
12:10～	昼食
13:30～15:00	座談会
15:00～15:30	発表
15:30	閉会



代表の中村美保先生



司会の佐久間恵子先生

## 【講演】

### 「愛される言葉力～心に残る話し方・接し方～」

講師：稲葉 寿美 氏

仕事でもプライベートでも皆が寄ってくる、愛される人。素敵なのは多々あると思いますが、いちばん表に現れるのは言葉力です。普段の会話や、ちょっとした一言。会話のツボがずれていては、なかなか人と接するのが難しい。いつも温かい言葉を発していれば多くの人が寄ってくる。長年のアナウンサー経験から、ちょっとした会話のコツや人前で話す基礎知識をお伝えします。

〈プロフィール〉

フリーアナウンサー(元東海テレビアナウンサー)

(株) INANA エンタープライズ代表取締役

中部大学客員教授

フリーアナウンサー稲葉寿美さんをお迎えして、3つの項目についてお話を伺いました。始めに、見た目と声を磨くについてです。人は視覚から55パーセント、聴覚から38パーセント、内容から7パーセントの情報を得るというメラビアン<sup>1</sup>の法則があるそうです。淡々と内容を伝えるのではなく、心と体を聞く人に向ける、つまり視線を向け柔らかな表情で、地声でゆっくりはつきり話すことが好感度もよく信頼感も増すということでした。そのためには発声、滑舌練習、また表情筋を鍛えることも大切だそうです。平たくかみ砕いてゆっくり穏やかに話し、プチびっくりの表情のすすめは明日からすぐに使える情報でした。

次に、印象に残る話し方について伺いました。共感、感謝、期待感の3つの感が大切だそうです。また、難しい話題からではなく簡単な誰でもわかる話題から入る逆ピラミッド型<sup>2</sup>の話し方、またその逆のピラミッド型の話し方を使い分けるといってお話も伺いました。1つめ、2つめ、あるいはまず、次にといのようにナンバリングしたり、手で数を示したり、強調したりといったジェスチャーも大切だそうです。

最後に愛されるコミュニケーション術について伺いました。挨拶した後、話し相手について何か気づいたことも伝える(プラスα)事、また聞き上手になることを勧められました。相手の話8割、自分の話2割が愛されるコミュニケーションの割合だそうです。明日からすぐに使えるお話を伺うことができとてもためになりました。わたしだけでなく、医院のスタッフにも伝えたい内容でした。

(西村温子)



聴講風景



講師の稲葉 寿美氏

## 【座談会】

### 〈概要〉

今回は「女性とキャリア」を共通テーマとし、10のグループに分かれて、各グループでの座長にお任せして協議をするという形にさせていただきました。

形式的には、自己紹介の段階で既に数多くの問題が提起されたグループ、それぞれの問いかけに先輩歯科医師からの確かなアドバイスがなされたグループと様々だったようです。

いろいろな内容が話し合われたようですが、ここでは特に目についた「悩み（今現在抱えているもの）」「不安（将来的な心配）」「前向きなご意見」「その他」の4種類を取り上げて、概要とさせていただきます。詳細に関しては、10グループでのまとめを掲載してあります。

以上のような積み重ねが、同窓会女性会員への対応に繋がっていくのではと期待しています。

### ○悩み（今現在抱えているもの）

- ◇ 小児歯科の大学院でアルバイト先を小児歯科にするか一般歯科にするか
- ◇ 出産後の復帰でタービンを持つのが怖い（妊娠、出産、育児とキャリアの維持、仕事の継続）、又は同じ問題を抱えた女性スタッフへの対応
- ◇ 男性側の理解協力が必須だが期待薄
- ◇ 夫婦で診療を一緒にする難しさ
- ◇ 親子診療の難しさ
- ◇ 親戚の歯科医院継承



座長事前打ち合わせの様子

### ○不安（将来的な心配）

- ◇ 医院継承
- ◇ 自分の健康と親の介護
- ◇ 結婚、出産と仕事の両立
- ◇ いつまで現状の勤務医のままでいられるか
- ◇ 子供達の虫歯が少ない
- ◇ 自分の将来がみえない

### ○前向きなご意見

- ◇ スタッフ雇用に関して、賃金さえ高ければと言うだけでなく働く環境の充実が大事
- ◇ いくつになっても自分磨きは必要だ
- ◇ 40歳以上になったら健康診断をして欲しい
- ◇ 家事、育児全てを完璧にやろうとせず自分なりのペースを見つける事
- ◇ 仕事は好きで生涯続けていきたい
- ◇ 夫婦、親子でうまくやっていく秘訣
- ◇ 歯科医師になってよかったことは自分ではなく他人の幸せに重点を置いて考えるようになったこと

### ○その他

- ◇ 歯科医師会への入会問題
- ◇ 最近の若い先生方が専門医を採ろうという気持ちが減っている
- ◇ 気分転換法

(中村美保)

## 〈各グループ発表〉

### ★グループ1



座長：渥美信子 書記：西村温子  
メンバー：野村寿子、水野菜穂子、河野友美、星野紗知、  
馬場聖子、越智鈴子

(自己紹介にて)

歯科医師の仕事をしてながら結婚子育てという忙しい生活を終え、自分の時間を持てるようになって  
いる方4名

独身で勤務または開業されている方4名

独身で大学院生1名

(歯科医師になって良かったこと)

定年はなく会社勤めのように結婚出産で仕事を辞めなくていい。

人に感謝される仕事で、役に立っていると実感できる。

(今後についての悩み)

子供の医院継承がうまくいくのか、歯科医師国家試験合格が難しくなっているし、合格した後も大  
変そう。

独身の方は、現在のところ仕事は充実してやれているが、この先自分が病気になったり、親に介護  
が必要になることに不安がある。

勤務医の方は、今勤めている医院でいつまで仕事を続けられるのか。現在の所結婚する気も開業す  
る気もない。

これから結婚出産したいが、仕事と両立できるか不安。

大学院生の方は、今小児歯科にいるがアルバイト先を小児歯科にするか、大人も診ている歯科にす  
るか悩んでいる。

周りに歯科が林立しているが、子供に虫歯が少ない。

(今満足していること)

全国チェーンの歯科に勤めていて経営者のストレスがなく、ノルマがあるわけでもないので歯科医  
師本来の仕事に専念できている。

(トラブル)

親戚の歯科医院を継承するつもりだったが、金銭面で折り合わなかった。

## ★グループ2



座長：森 榮            書記：伊藤亜紀子  
メンバー：芝田登美子、大谷文乃、盛田絵理、山川洋子  
市原三千子

第2グループは20代から70代と幅広い年代が集まりました。内訳は、開業1名、勤務2名、行政勤務1名、ご主人との開業3名です。それぞれの立場からお話を伺うことができました。

若い勤務医の先生は、将来が見えないという不安を抱えられておりました。これから仕事をしていく中で自然と方向性が見えてくるので、焦らなくても大丈夫というアドバイスが周りから出ました。

口腔外科勤務の後、出産を経て復帰された方は、タービンを持つのが怖いという不安を抱えており、現在週一のアパートで一から勉強していくと頑張っておられます。

行政に勤務されている方は、はじめご主人と一緒に開業されていましたが、方向性の違いから行政に行くことにしたと話され、夫婦で診療を一緒にする難しさも話題になりました。気にならないという方もあり、それぞれであるようです。

専門医指導医の資格を持つ方からは、最近の若い先生の資格を取りたいという気持ちが減っているのが残念という意見がありました。

日々診療に、子育てに真摯に取り組む中での悩みが率直にお話しでき、有意義な座談会であったと思います。

## ★グループ3



座長：祖父江達子        書記：永縄友紀子  
メンバー：浅岡真理子、根来道恵、加藤恵佳、小島 盟  
水野公子、長浜 充

グループ3では女性のキャリアと悩み事、スタッフの雇用問題についてが、議題となりました。女性がキャリアを積んで仕事をしていく上でその問題は自分だけではなく、スタッフにも等しく関係していることであり、一番大きな問題はやはり、妊娠、出産、子育てを経てのキャリアの維持、仕事の継続でした。妊娠、出産を経て、その後仕事を産む前と同様に継続して行く事は大変難しく、育児休業を取得した後、仕事に復帰してきたスタッフが他のスタッフ同様に働けるかと言えば決してそうではなく、子供を持つスタッフとそうでないスタッフとの条件の相違をうめる難しさなども話し合われました。

結果、スタッフの継続的な雇用に際し、これらの課題について積極的に取り組むことはもちろんですが、働きやすい環境を整えるためには雇用側であるものが我慢をしたり、ある程度自分で色々すすんで行く。福利厚生として食事会をもうけて、その際にコミュニケーションを取る努力をしているなどの意見が出ました。最近の傾向として賃金さえ高ければ良いと言う訳ではなく、それ以上に働く環境が充実しているかが重要になってきているように感じます。

それは、我々歯科医師側にも同様にいえることで、子育て中の女医さんが働いたり、学会に参加したりする際には託児の設備が整っていること、子供を安心して預けることができる環境が整っていることが必要不可欠である事が再認識されました。

そこで、やはり必要になってくるのが男性側の理解協力であると思われ、社会に出て働く前の男性ドクターにも是非意識を高めて頂く必要があるとの意見でまとまりました。

#### ★グループ4



座長：西尾佐和子 書記：山根典子  
メンバー：谷口昌美、井後純子、佐野乃里江、松村嘉奈  
中村文子、前田多津子

私どものグループは、開業されて歯科医師会に入会されている先生が6名、行政の方が1名、歯科医師会にはまだ入会せず父親と一緒に診療をしている先生1名でした。

歯科医師会に入会されている先生のうち県の歯科医師会で理事をされている先生や、女性歯科医師の会を作ってみえる先生がみえましたので、歯科医師会での問題に関しての内容になりました。とある県の歯科医師会には女性の理事がおらず、女性の歯科医師の会を立ち上げて、県のために女性歯科医師が出来る事に取り組みたいと提案したが、保留のままであり、郡市区から県へ持っていくように要請したが、また保留のままであるとのことでした。他の県の先生方はどのように行動されているかという質問に対しての内容になりました。

現在歯科医師会の会員は、男性が多く、配偶者又は親子で歯科医師でも、家族で1人が入会していたら女性は入会しておらず、歯科医師会としては一人でも多くの女性歯科医師に入会していただくようにいろいろと対策を考えているとのことでした。

例として、年に2回女性だけで講習会を昼間に行ない、懇親会もしていることをアピール（子供同伴OK）したり、同窓会を通じてアナウンスをしたり、勤務先の先生に勧誘していただいたりに対応をしているそうです。さらに、診療後の夜に行なわれる講習会、遠くでの講習会は、家庭を持つ女性は外出しにくいので、昼間にDVDでの講習、ネットでのサテライト講習などを検討中であるなど、女性が歯科医師会に入りやすくなるような取り組みを教えてくださいました。

また、行政の先生からの意見としては、医師会はデーターから先を見越した取り組みをしているが、歯科医師会は目先のデーターでしか判断できていない現状があるそうです。

小児の口腔機能の状態が解らない男性歯科医師が会を動かしているため世間から遅れていくとの発言がありました。

現在、兵庫県歯科医師会では女性の理事を中心として小児の口腔内の成長をたどるパンフレットを作成中であるとの話がありました。

『女性は集まって話す事でまとまる。女性歯科医師の強みは人間関係を良く出来る。』

以上のような内容の座談会でした。

## ★グループ5



座長：井上泰子　書記：兵藤文美  
メンバー：今枝真理、吉田奈未、伊藤千寿代、黒崎梨恵子  
田澤澄枝、山川祐喜子、園部菜那

グループ5は、9名での座談会でした。60代2名、50代1名、40代3名、30代3名でした。

座長の井上先生の自己紹介に始まり、各自順番に自己紹介していただき、現在のライフスタイル、悩み、リフレッシュ方法などを話していただきました。偶然にも、全員がご家族（ご主人や親）と一緒に仕事をされている方ばかりで、話が弾みました。

女性院長として開業されていた先生からは、開業したての頃の大変だった思い出などを語っていただき、仕事と子育ての両立について悩む30代の先生に大変参考になるお話でした。忙しくてももう少し子供をみてあげたかった、忙しくても家族の助けがあったから仕事が続けられた、いくつになっても自分磨きは必要だと言ってみえました。仕事も家庭もすべてを完璧にやろうとはせず、自分は自分で、自分なりのペースで無理をしないことが大切だ。そのためには、体力も必要で女性は40歳以上になったら健康診断をしてほしいと言ってみえました。

これも偶然ですが、親子の先生が1組みえて、娘さんの先生からは、「親の医院に帰って一緒に働いて喧嘩しないか？」との質問がありました。父親には早く引退してほしい、将来のことを考えて医院も縮小化したいとのことでした。父親と診療している先生は、喧嘩してしまうのは、まだ親がやる気が十分あると思うので、まだ引退させてしまうのは難しいのではないかと。院長にやってほしいという患者さんもいるので、持ちつ持たれつやっていくのがいいのではないかと、この意見が出ました。

他には、2歳のお子さんをもつ30代の先生からは、父親とフルで働いていて、疲れてしまい家事も中途半端になってしまう。体力がなく、これからの健康が不安。親の健康面も心配で、これから介護があると思うと不安だということでした。

他の先生からは、診療のアポイントの取り方についてアドバイスをいただきました。ただ予約をとる、予約表を埋めるのではなく、患者さんとよく話をし、ライフスタイル、仕事や自由な時間を考えてあげてアポイントをとるようにしていくとよい。そうすると、患者さんからの信用も増し、リピーターが増える。とのことでした。

色々な悩みがある中、リフレッシュ方法もお聞きしました。読書、筋トレ、大学時代の友人と食事、子供とボルタリング、ウォーキング、手芸、コンサートに行くなどができました。

女性歯科医師として働いて、家庭のこと、子育てをしていくには、家族の支えが必要であり、すべてをやろうとせず、自分なりのペースをみつけることが、これから仕事をしていく上で重要だということでした。

年上の先生方が、経験談を話してくださり、和気藹々と和やかな座談会になりました。

## ★グループ6



座長：山岡眞弓 書記：梶川美千佳  
メンバー：渡辺麻実子、西田貴要子、加藤知美、萩原佳江  
濱 昌代

私達6グループ7名の自己紹介より、A先生は40歳前で現在3人目のお子様を出産間近で、実家のお父様と一緒に診療されていますが、この先産休中、御主人が彼女の代わりにお父様と一緒に診療されるという事で、色々な心配をされていて、それについて50歳以上の他6名が色々アドバイスしていました。

またB先生は、御主人と一緒に診療されていて、お子様が小さかった頃のご苦労を話されていました。

C先生は、お子様も大きくなられていて訪問診療専門でお勤めされているそうですが、以前は小児歯科医であったが、老人と子供の診療は時によく似ていて、楽しく仕事ができていると仰っていました。

D、E、F、G先生は、自分一人で開院し診療しているが、以前の子育てとの両立が大変だった事、一人で開院しているが故スタッフの事、経営その他色々な苦労があるが責任感やクリニックを守っていくという気持ちも同時に持てたとの事でした。

また、全員の先生が若い時の患者さんからのジェンダーハラスメントに心傷ついたという訴えがありました。今の年齢故なのか世の中が少し変化したのか感じなくなったとの事でした。

6グループの7名は、各々違う立場、診療形態で仕事をしているが、仕事は好きであり、生涯続けていきたいという目標を立てました。

ここには書ききれないくらいの意見交換ができて、とても有意義な時間を頂けた事大変感謝しています。有難うございました。

## ★グループ7



座長：越智雅子 書記：谷 香代子  
メンバー：丹下春美、飯田久恵、小林久美子、杉浦絵里子  
篠原かおり、溝畑亜紀子、佐藤言葉

最初に自分自身が女性歯科医師であり、就職および勤務していくのに苦労したことがあったかを発言してもらった所、多くは「困ったところはない」だったが、「勤務医の際は他のスタッフとの関係もあり、休みは取りにくかった。今は、実家との掛け持ちでうまくしている」との意見がでた。まず、女性歯科医師が直面する子育てについて発言してもらったところ、「祖父母など人に助けてもらいながらしていくのが良い」「なんとかなる」など、前向きな意見が多くでた。

次いで、介護について質問したところ、直面している先生は見えなかったが、「一般的に女性が負担する場合が多く、男性にも頑張ってもらいたい」との意見がでた。

また、日々の診療について質問したところ、「夫婦で仕事をしていくには、主人をたてて、意見は尊重する」「自分は子供を診療するなど分担する」との意見がでた。

医科のご主人と同じビルで診療されている先生、病院の歯科でご主人と診療されている先生もみえた。ここでは男性、女性という事ではなく、医科、歯科との差について（保険点数などの違い）が話題にでた。

病気のため診療を一時期休まれた経験がある先生から「男性の先生より体力もなく、診療は遅いので悩んでいたら、上司に『女性は男性と競うのではなく女性らしく診療したらよい』との力強いアドバイスをもらった」と、素敵な経験を話していただけた。

また、開業医の先生から「午前のみ、午後一時まで診療をして、往診があれば午後に診療をするスタイルにして時間を有効利用して体力的に無理しないようにしている」とのアドバイスもでた。最後に、「スタッフとの関係を上手くするコツは？」との質問について、「相性もあるし難しい」「うまく一線を引いて仲良く」「懇親会の機会を利用」「DHの利点も多いがDHにこだわらず、DAの気が利く方も良い」「DHからも意見が言えるような関係性、環境は良い関係の一つ」などの意見が出た。最後の話題については時間もなく、明確な答えはでなかった。

多様な状況の先生から多様な意見が出たことにより、参加者の一助になれば良いと感じた。

## ★グループ8



座長：長井真理子 書記：小岩井久美恵  
メンバー：日比享子、高濱明子、村瀬尚子、木下裕子  
浅見彩路、丸子裕美子

今回の参加者は、開業医である夫と一緒に働き、家事仕事子育ての三足のわらじを履いて頑張ってきた先生がほとんどでした。同じ診療所でうまくやっていく秘訣は第一に「お互い干渉しない」「担当医制で行う」「診療科目で分ける」「専門で分ける」など皆さん色々工夫してがんばってこられたようです。それでも夫は家事を協力してくれず威圧的な態度を取られ我慢できず自ら開業される先生も数名いらっしゃいました。夫婦、親子（義理の子供、義理の親を含む）で同じ職場で働くのは難しいようです。

次に子育て中の仕事はどうしたかという女性ならではの話題で盛り上がりました。「親とその時期だけ同居した」「保育園に入れた」「市のファミリーサポート制度を利用した」などでした。中でも子供の突然の病気の時の対処には苦労したようです。大切なことは数ヶ月の育休を取ったとしても仕事は完全に辞めるべきではない。一度辞めると復帰が難しくなる、細々とでも続けるべきという考えが多くありました。

最後に終活に向けて診療所をどうするか。閉院、後継者に譲る、売却する、様々な意見が出ましたが、今や人生100年時代、20~30年は働けそうです。手に職があるということは素晴らしいことであり幸せなことです。細々だとしてもできる範囲で仕事をし続け、女性として歯科医師としていつまでも輝いていたいと思います。

## ★グループ9



座長：吉田尚子 書記：古田名美  
メンバー：木曾原久美、神出雅子、田邊晴子、丹羽智子  
堀江真央、越智葉子

メンバーの構成は、20代の若手の先生から60代の先生と幅があり、既婚者・未婚者と分かれており、歯科医療のやり方でも、開業されておられる方、親と診療している方、教育機関に勤務されている方、企業検診にまわってみえる方、大学院生、勤務医と多様でした。

このように年齢や働く環境がさまざま、共通の議題が見つかりませんでしたので個々の現在の悩みを中心に出示していただき、それについて皆さんで共感し、経験のある先生がアドバイスしていくといった流れで話をすすめていくことにしました。

まず、若い先生の悩みとして結婚して子育てできるか不安といったことに対して、ご経験のある先生方から、なんとかなるから深く考えないでとやさしいアドバイスをいただきました。また、親御さんと一緒に診療されている先生の進路の方向性に関する悩みに対しては、じっくり考えるときだからすぐに結論を出さなくてもいいのではと頼もしい助言をいただきました。40代の先生の仕事が軌道に乗ってきた時に親の介護の問題が出てきたという悩みに、子育てと同じで何でも頑張ればなんとかなるものだと助言をいただき、50代の先生の閉院について考えてしまうという悩みには、体が続く限り仕事をしていけばよいと力強いアドバイスをいただきました。

次に仕事のストレス解消法についてお聞きしたところ、ヨガ、アロマ、読書、楽器の演奏、歴史の勉強といった様々なご趣味を皆さんお持ちになっており、時間を有効にお使いになっていることが分かりました。

最後に歯科医師になってよかったことをお聞きしたところ、患者さまに感謝されてうれしかったことや地域医療の貢献など、自分ではなく他人の幸せに重点を置かれていることに先生方の人間性が現れていました。

年齢層が違い、環境も違うので問題点は個々で異なりますが、女性と歯科医の共通点で先生方の関わりが広がって、悩みに対して知恵を出し合い有意義な会に年々発展していくことを願います。

## ★グループ10



座長：大谷広緒 書記：杉本有加  
メンバー：岡田智美、杉山依里、石原摩美、勝瀬佐和子  
布目静香、大野恵子、河野承子

- Dr. 1 次世代への医院継承で閉院予定。開業医は辞めるが、今後の可能性が楽しみ。
- Dr. 2 東海3県10歯科医院のコンサルティング。スタッフ教育。月1wのみ診療。
- Dr. 3 体力が落ちてきて疲れる。今後どうしていくか迷い中。
- Dr. 4 父の急逝で突然、医院を継いだ。3歳の子供とどう触れ合うかに悩んでいる。
- Dr. 5 主人が自院を継いでくれた。院で勉強しながら子育て中。

- Dr. 6 新潟の小児歯科に20年勤務後、主人が岐阜に転勤した為、1人で岐阜で開業。毎日本当に大変で知り合いも少なく、主人の協力も少ないのが悩み。
- Dr. 7 不登校の子育てに悩んでいた。子育て、女性支援に興味がある。自分磨きも大切。
- Dr. 8 独身。矯正歯科を学んでいたが一般歯科の医院に転身。今や、スタッフ90人を抱える医院の実質院長。
- Dr. 9 卒後5年、通勤時間が長いので転勤を考え中。皆さんの気分転換法を知りたい。子育てしながら仕事をするのは本当に大変だが、自分で全て背負い込まない事が大切。皆それぞれ大変。自分だけが大変なのではないことを知る事で、明日からがんばれるはず。趣味を持つこと、異業種交流をすることで世界を広げる事も大事。時間の都合でなかなか掘り下げる事ができなかったが、以上の意見ができました。

### 〈感想〉

座談会に参加して、今回もまた、素敵な先生が見えるものだと脱帽しました。今回の班は、行政の先生、東京都、兵庫県でそれぞれ女性歯科医師の会を立ち上げてみえる先生方と同じ班になり、有意義な時間を過ごさせていただきました。無作為に班を分けていただいたにもかかわらず、今の私にとっては、ぴったりの班でした。ありがとうございます。いろいろな形の女性歯科医師があると思いますが、かっこよく、余裕を持って輝いていたい、また、女性歯科医師が働きやすい、勉強しやすい環境が整って欲しいと思いました。これを機会に様々な先生と連絡を取り、いろいろと教えていただき、今後、女性歯科医師の先生方の輝ける場所を作っていく小さな力に私もなればよいなと思いました。同じ医局の先輩も参加されており、背中を押される一言もいただきました。「家族が大事よ、頑張れ」と。班の中に一名の若い先生がみえたのですが、聞いていただいているだけになってしまい、今回の座談会も、喋り過ぎてしまったことを反省しつつ、たくさんの刺激をいただき皆様に感謝です。

(佐野乃里江)

## 【アンケート集計結果】

### ○サマリー（概要）

今回の「第5回女性歯科医師の集い」（以下「第5回」という）は「第3回女性歯科医師の集い」（以下「第3回」という）と同様にアンケートを取らせていただきました。質問内容は「6. 座談会」に関して以外はほぼ同様です。

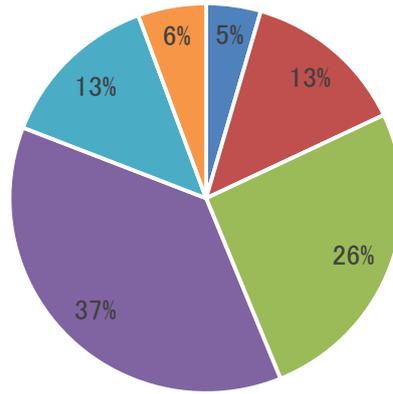
以下、分析結果を報告させていただきます。

全体の出席者数は93名と、「第3回」の102名よりも9名減少しました。ただし、アンケートの回答率が今回は92名（99%）という結果でした。又、今回の講演内容に関する参加者の感想は極めて肯定的と受け止めることができ、主催者として安堵しています。

### ○分析と報告（今回と「第3回」との比較を交えて）

#### 1. 参加者の年齢

年代別



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

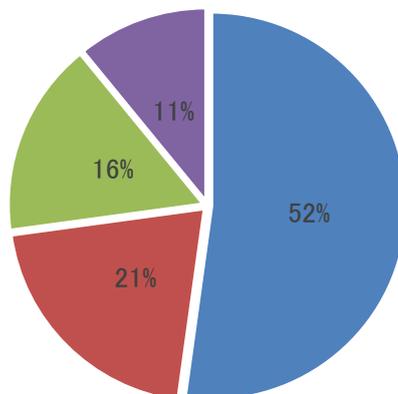
1. 年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
「第5回」人数 (%)	4 (5%)	13 (13%)	26 (25%)	37 (36%)	13 (16%)	6 (5%)	92
「第3回」人数 (%)	13 (16%)	16 (20%)	21 (26%)	21 (26%)	10 (12%)	※	84

※「第3回」では、「60代以上」という分類のため、「70代」は不明

幅広い年齢層にご参加いただいているものの、「第3回」と比較すると、若い方が減少し、50代60代以上の参加者数増が目立ちます。「第3回」は20代16%、30代20%で合わせて36%(29名)でしたが、今回は両世代合わせても18%(17名)に留まりました。50代が26%から33%(37名)に増大、60代以上で21%(19名)と人数では前回の倍近くなっています。今後、若い世代への働きかけが必要ではないかと思われます。

## 2. 出身大学

出身大学

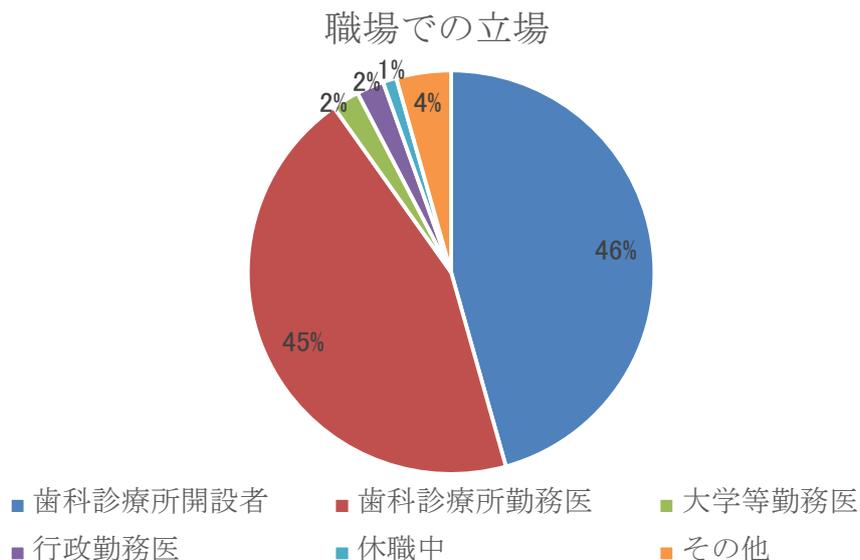


■ 愛知学院大学 ■ 朝日大学 ■ 松本歯科大学 ■ 他

2. 出身校	愛知学院	朝日	松本	その他	合計
「第5回」人数 (%)	48 (52%)	19 (21%)	15 (16%)	10 (11%)	92

今回も、大学別の人数比率は「第3回」とほぼ同様でした。その他の大学が少し伸びています。

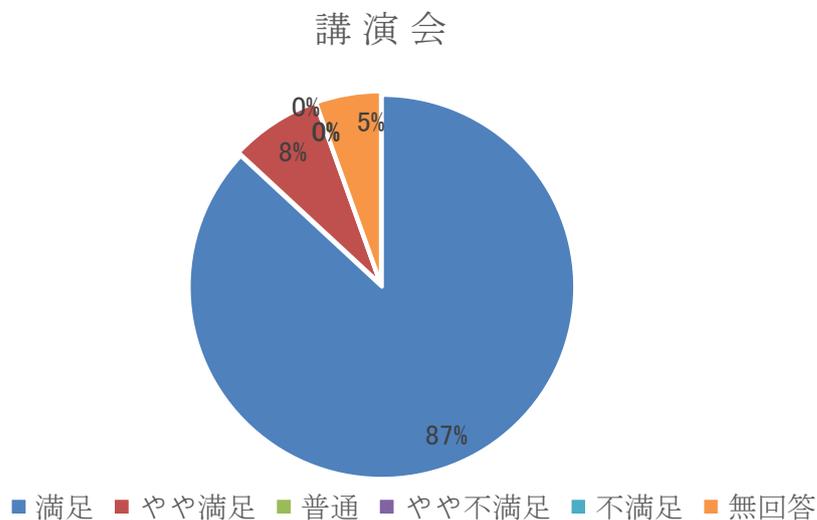
### 3. 職場での立場



3 職場での立場	開設者	歯科診療所勤務	大学等勤務	行政勤務	休職中	その他	合計
「第5回」人数 (%)	42 (46%)	41 (45%)	2 (2%)	2 (2%)	1 (1%)	4 (4%)	92
「第3回」人数 (%)	34 (42%)	31 (38%)	9 (11%)	2 (3%)	2 (2%)	3 (4%)	81

「開設者」と「歯科診療所勤務者」が人数・率が共に増加しています。「大学等の勤務者」は人数・率共に大幅減で、「行政勤務」、「休職中」はやや減少で、「その他」はほぼ横ばいと言えます。「大学勤務」の先生方には若い先生方が多いと予測のもと、今後この部分に働きかけることが必要になってくると考えます。

### 4. 講演内容



4. 講演内容	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	無回答	合計
「第5回」人数 (%)	80 (87%)	7 (8%)	0	0	0	5 (5%)	92
「第3回」人数 (%)	22 (27%)	20 (25%)	27 (33%)	5 (6%)	2 (3%)	5 (6%)	81

今回の講演内容に関する先生方の回答に関して「満足」と答えていただいた先生方が大幅に増加しています。さらに「満足」「やや満足」を合わせた実に 95%の先生方が肯定的な感想を持っていただきました。今後続けてご参加いただくためにも、やはり講演内容の決定、講師の選択は極めて重要な要件と捉えられます。



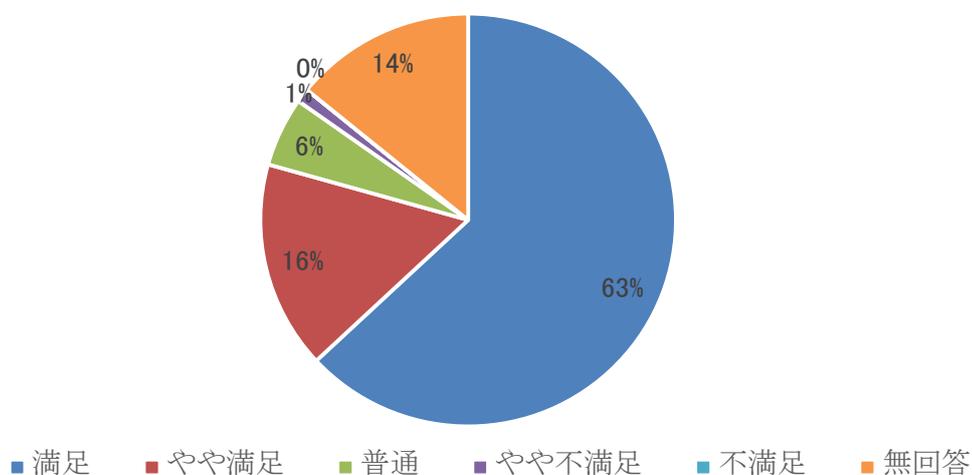
講演進行係の森岡貴子先生



全員参加型の講演会風景

## 5. 座談会

### 座談会

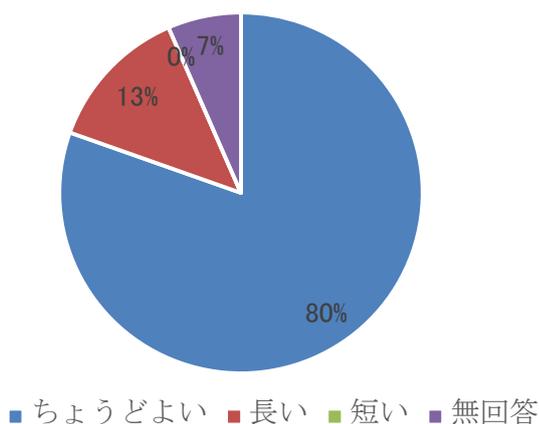


5. 座談会	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	無回答	合計
「第5回」人数 (%)	58 (63%)	15 (16%)	5 (6%)	1 (1%)	0	13 (14%)	92

「満足」、「やや満足」を合わせるとほとんど 8 割の 79%の先生方が肯定的な意見といえます。「無回答」が他の質問と比し 14%とやや多いのは、「12 意見」欄にある、「座談会は少しテーマがはっきりしていなかった」「テーマ別にグループで話をする方が目的別にディスカッションできるので有効」「座談会だと参加者の多くの交流がしづらいです。」という意見が反映されているのかもしれない。

## 6. 開催時間について

開催時間

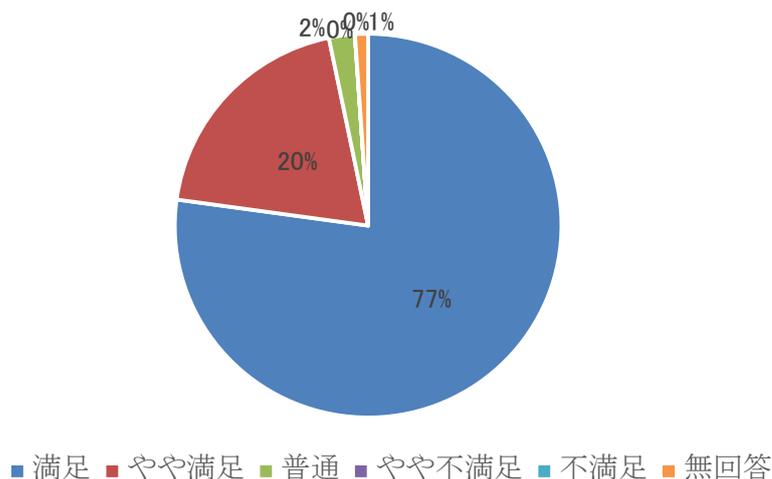


6. 開催時間について	ちょうどよい	長い	短い	無回答	合計
「第5回」人数(%)	74 (80%)	12 (13%)	0	6 (7%)	92
「第3回」人数(%)	59 (73%)	17 (21%)	0	5 (6%)	81

「第5回」は、「第3回」よりやや増加して80%の方が「ちょうどいい」と感じてみえます。同時に「長い」と感じてみえる方も13%と減少しています。多くの先生方がこの会の趣旨をご理解くださり、積極的にご聴講、ご発言をいただいた結果と捉えています。

## 7. 会場について

会場について



「満足」「やや満足」を合わせると、97%以上の高い支持率をいただいています。交通の便（名古屋駅というアクセスの良さ）、駅から雨に濡れることなく会場入りができる、女性好みの豪華な会場などが上げられます。

7. 会場	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	無回答	合計
「第5回」人数(%)	71 (77%)	18 (20%)	2 (2%)	0	0	1 (1%)	92

ただし、収容人数に制限があるため、参加人数が増えれば会場の変更の必要があります。

## 8. 会費について

8. 会費について	安い	妥当	高い	無回答	合計
「第5回」人数 (%)	48 (52%)	42 (46%)	0	2 (%)	92

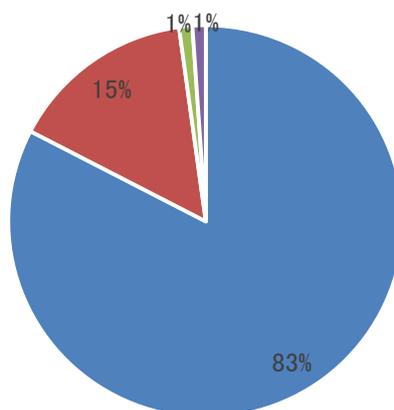
98%の先生方が満足されています。

以下、コメントをご紹介します。

「ありがたいです。」「講演もあり、ごはんも出していただき色々準備も大変なのにこの値段で申し訳なく思います。」「別料金で。」「ありがとうございます、とても安くてお弁当もおいしかった。」「おみやげがすごいです！かんげき！」

## 9. 今後も「女性歯科医師の集い」に参加したいと思いますか？

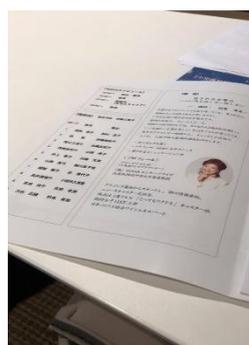
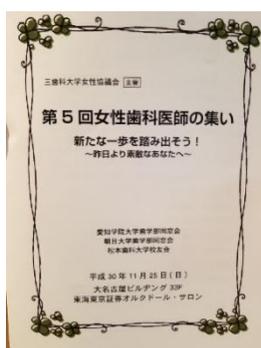
今後の参加



■ 参加したい ■ どちらとも言えない ■ 参加したくない ■ 無回答

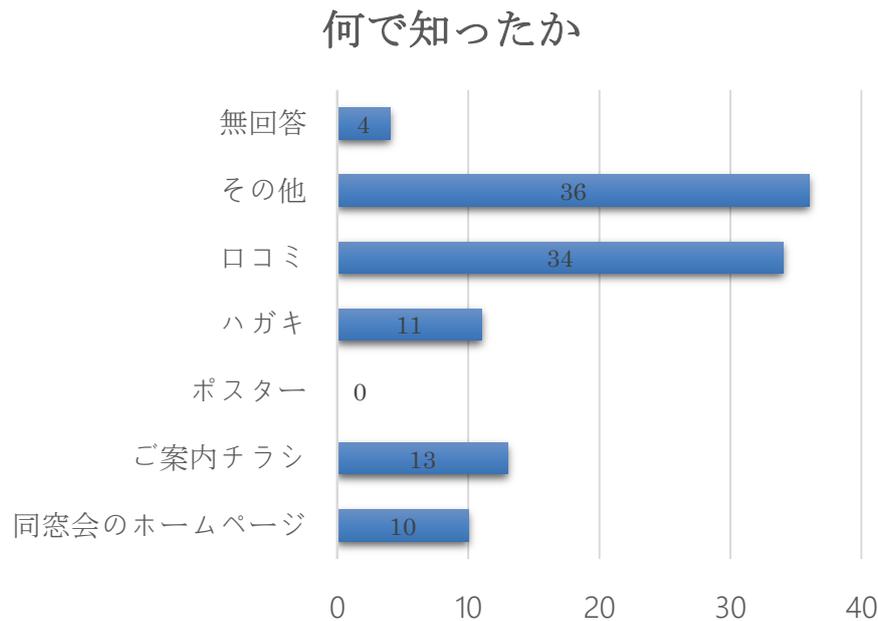
9. 参加	参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無回答	合計
「第5回」人数 (%)	76 (83%)	14 (15%)	1 (1%)	1 (%)	92

80%以上の方が次回参加を希望してみえます。楽しかったと思っていただけたこと、講演会や座談会を通して何かを見つけて、輝く明日へのステップとなる会だったのではないかと評価できます。



プログラム

## 10. 今回のイベントをどのようにして知りましたか？



10. 何で知ったか	口コミ	はがき	ポスター	案内チラシ	同窓会 HP	その他	無回答	合計
「第5回」人数 (%)	34 (31%)	11 (10%)	0	13 (12%)	10 (9%)	36 (33%)	4 (4%)	108※

### ※複数回答

告知方法では、「はがき」をご覧になってみえる先生が意外と少ない印象を受けました。かといってHPもあまりご覧になっていないようです。やはり主催者やあるいは過去に参加された方の「口コミ」が効果的のようです。

## 11. 「女性歯科医師の集い」で取り上げてほしい企画がありますか

多くの貴重なご意見をいただきました。役員会・委員会で今後の検討材料とさせていただきます。

### 1) 内容についてのご意見

- ・ 教育、女子力 UP
- ・ 輝ける女性歯科医師の生き方
- ・ 日頃の悩み（子育てや仕事）
- ・ 男性（夫）の教育
- ・ 歯科学術的な内容
- ・ アンチエイジング
- ・ 医療アロマ
- ・ スタッフとの関わり、コミュニケーション
- ・ 経営やスタッフ管理
- ・ 女性の地位向上
- ・ マナー講習会
- ・ お料理、お化粧品の話

### 2) 運営方法、回数(頻度)についてのご意見

- ・ 1年に1回ではなく気軽に集まれる会

- ・困ったことを相談できる HP 掲示板
- ・気軽な食事会スタイルで

## 12. その他ご意見があればお書きください

### 1) 肯定的なご意見（抜粋）

- 交流の場として最適です
- 講演会はためになった
- 本日はありがとうございました 今後ともがんばって下さい
- 普段出会えない先生方とお話できて楽しかったです
- 三大学同窓会が集うのはとてもすばらしいと思います
- 目的別にディスカッションできるので有効な気もしました
- 座談会が楽しくすごせました
- 講演会も座談会も充実した内容でとても有意義な時間を過ごせました
- この会を開いて下さり ありがとうございました
- 時間帯としてはこれがちょうど良いと思います
- 前回の講演会は難しかったので今回のようにすぐ生かせるようなものが嬉しいです
- 知らない方と、いろいろな話ができ、興味深く、過ごさせていただきました
- 講演とても良く明日から役に立ちそうです
- 自分が今までの行き方をアウトプットする事でいろんな背景をお聞きして、楽しいひとときを過ごせました
- ビンゴより全員のおみやげがうれしいです
- 今日は楽しい意見会でした。なかなかこういう話は聞けない！
- 講演会後は座談会だと参加者の多くの交流がしづらいです
- 幹事の先生方、楽しい時間を作って下さってありがとうございます
- たくさんのアドバイスが先輩方から聞くことができとても楽しい時間でした
- 2年前より座談会が和やかでよかったです
- 参加してよかったです。役員のみなさま本当におつかれ様です
- 今までの形態でいいと思います。2部は色々な方の人生、働き方など聞けて、とてもためになります

### 2) 改善を望まれるご意見（抜粋）

- 座談会は少しテーマがはっきりしていなかった
- セミナー → 交流会（お弁当食べながら）でよいかと
- テーマ別にグループで話をする方が目的別にディスカッションできるので有効な気がする
- 人数は当初のみ予定の 80 人程度が良いと思う
- やはり、色々なことを考えて半日開催がいいのでは
- 会費は高くてもいいのでお食事会と講演会だけがいいです
- 午前だけの会があった方が女性は参加しやすい様に感じます
- お土産が特別なものだという詳細な説明はいらなかったと思います
- 美しい女性の方のお話が聞きたいです
- 若い先生の意見が聞けるような会で良いかと思ひます。
- 他地方の大学出身なので 近隣の同世代の先生とつながりたい
- とり肉アレルギーで弁当を数種類から選ぶことができるとうれしい

- 参加される先生方と今後つながっていきけるようにしたい
- 座談会は環境（世代）が似てる者同士で組む方が良いのでは

## ○総括

全体の出席者数は 93 名の中で、今回目立ったのは若い世代の参加者数が減少したことです。相対的に 50 代の比率が増加し、年齢構成に若干の変化がみられました。出身大学比率はほとんど変化なく、今後は他大学の先生方への告知も考慮し、少しでも参加の輪を広げることができたらと考えています。いろいろな世代、いろいろな職場や勤務形態で働いている女性歯科医師のご意見を取り入れ、内容の幅を増すためには、今後は大学勤務者等の若い先生方のご参加に期待したいと思えます。又、限られた予算で女性歯科医師の心を掴む講演内容、講師の決定が極めて重要です。座談会に関して、今回はテーマを一つに絞りました。いくつかのテーマがあった方がいい、座談会は必要ないというご意見まで色々でしたが、80%近い肯定的なご意見もいただいているのは、本音を言いたい、本音を聞きたいと思っている方も多いと推測できるため、同じ形式ではなくともそのような時間をとりたいと考えています。時間については、「長い」と感じられる方が 1~2 割位おみえでしたが、講演、座談会と途中で食事という流れは定着しつつあります。会場、会費も現状のままで継続していくのが望ましいように見えるアンケート結果ですが、今後の「集い」の在り方、方向性で参加人数が増加することも考えられ、今後の企画運営の見直しの必要があるかもしれません。今後の参加意思については、おおむね積極的参加の意思がみられます。今回のような女性歯科医師が集うような会を継続開催する必要があると感じます。周知方法に関しては、はがきやHPが予想を下回る効果で今後の大きな課題と考えます。「今後取り上げて欲しい企画」では、今後の協議会・委員会で検討を重ねていきます。

様々な貴重なご意見に、この紙面をお借りして心より感謝申し上げます。今後の検討課題のヒントも多く含まれ、参考にさせていただけることと思えます。

最後に、この「集い」がただの集まりでは意味がないと考えます。今後この「集い」の在り方を十分に協議して、どのような方向性を目指すのかにつきまして、更なるご意見をいただきながら進めてまいります。

（アンケート集計 佐久間恵子 考察 中村美保）

## 【エピソード】

### —母娘参加が 4 組—

第 5 回目の集いが中村代表のもと、とてもスムーズに開催されました。定員いっぱいの参加者の中に、今回は何と 4 組の母娘歯科医師が参加されました。この会の目的の一つに、大げさに言えば、年々増加する女性歯科医師のために、少しでも生きやすい、働きやすい、過ごしやすい環境作りができればという思いが込められていますので、このことは大変うれしいことであります。

座談会では、名字が違っているために偶然同じグループになられた母娘もあったようですが、私はグループの中でいつもと違うお互いの姿も見られ、却ってよかったのではないかと思います。歯科という共通話題の上に、女性歯科医師の生き方という話題を共有できたのではないのでしょうか。

ところで、同じ職業を持つ母娘の関係ってどんなものなのでしょう。同級会などで時々男性歯科医が息子とうまくいってないと聞いたりします。中には診療そのものを別にしてしている方もあるようです。私の父は息子には厳しく、歯科大に進学が決まっていた兄に「コーヒー飲みに行くくらいなら辞めろ」と嫌味を言って、実際に兄は辞めてしまったという事実があります。反対に娘の私にはとても

甘く、上手く抜歯ができない私をフォローして、患者さんに「これはとても難しいケースだ」と言ってくれたりしていました。

いつも忙しく動いている母親の背中を見て歯科医師になられた娘さんは、母娘という甘えと同姓ならではの気安さの中に、尊敬する先輩あるいは反面教師としての姿も見ておられることでしょう。一番のロールモデルに違いありません。

この会を通じて知己を増やし、歯科医師会や他の会に積極的に参加する女性歯科医師が増えることを願っています。

(愛知学院大学歯学部同窓会副会長 森 榮)

## 【スタッフ】

### ・愛知学院大学歯学部同窓会

(女性企画委員会) 中村・佐久間・森岡・森・祖父江・渥美・西尾  
井上・西村・山根・兵藤・伊藤・永縄・佐野

### ・朝日大学歯学部同窓会

橋本・近藤・城所・越智(雅)・越智(葉)・越智(鈴)

### ・松本歯科大学校友会

伊藤・岡田・守安・吉田・杉本



受付



お弁当配布



愛知学院大学歯学部同窓会  
池山会長と森副会長

## 【編集後記】

三歯科大学女性協議会の役員は、11月25日を迎えるまで、これまでの集いの反省点と実務担当者や参加者のご意見をもとに何度も協議を重ねてまいりました。三校のオリジナリティを尊重しながら、1つの方向性を保持していくには困難に直面することもありました。

でも当日、参加者の期待にあふれた顔を、また講師 稲葉寿美さんの颯爽としたお姿を拝見したときに、今までの苦労が吹き飛んで晴れやかな気持ちになりました。

ああ～よかった！心からそう思うことができました。

愛知学院は今回、代表校として企画・運営を担当し、講師選定から事前のタイムスケジュールや役割分担まで綿密に協議・確認して臨みました。委員の皆さんの協力の気持ちや使命感がなければここまで素晴らしい会にはならなかったでしょう。代表として皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

男女共同参画基本計画の中で、202030の実現が平成17年に提唱されてから、10年以上の年月が流れました。平成19年には全国に先駆けて愛知学院大学歯学部同窓会に、女性支援委員会(現女性企画委員会)ができ、当時委員長の森 榮先生を中心に女性の活躍をサポートする事業を進めてまいりました。今や学生の約半数を占める女性歯科医師たちが歯科医師という職業に誇りを持ち、また女性としても輝いてほしいと願っています。

私たちは女性歯科医師の集いを、①ネットワークづくりの1方法として、②先生方の息抜きの場

として、そして③意見交換、情報収集の場として、肩の力を抜いて参加していただけるような会にしたいと考えています。この度、ご参加の愛知学院同窓生には、AGUD-女性の会のピンバッジをお渡ししました。このバッジを見たとき、同窓生で繋がっていることを思い出していただきたいと思います。

今回、他大学同窓会の女性の会の役員や他県歯の役員が何名もご参加されています。女性の会に関わる先生方は、この先の在り方につき思い悩んでいるのだとご苦労が伝わってきました。今後とも他の組織とも交流をもち、高め合っていきたいと考えています。

最後になりますが、同窓会執行部の先生方、今回も暖かく見守っていただきありがとうございます。  
(中村美保)



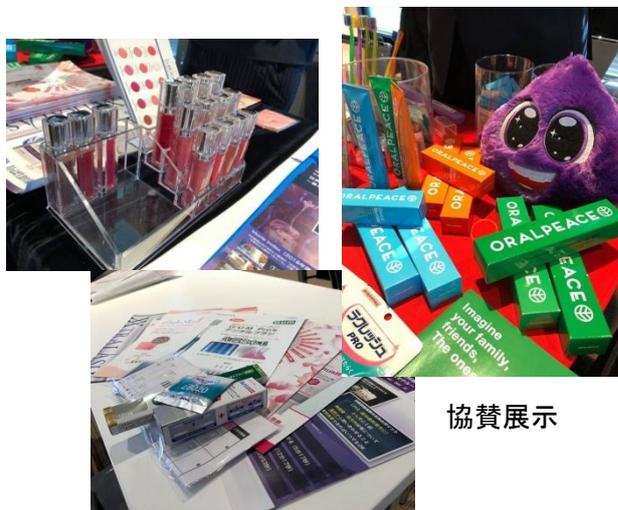
三歯科大学女性協議会のメンバー



女性企画委員会のメンバー



協賛企業紹介



協賛展示



美濃吉のお弁当



おみやげ



参加証のピンバッジ

このマークを見たら私たちはつながっていることを思い出してください。